※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	住生活デザイン	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作教材、実習教材、プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇住生活や住文化に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、豊かな住生活の実現を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。
（１）住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する豊かな住生活の実現を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
（２）快適な住空間の計画やインテリアデザインに関する課題を発見し、豊かな住生活の実現を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）豊かな住生活の実現を目指して自ら学び、住空間のデザインに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために住生活や住文化に関する必要な知識を理解し、それらにかかわる技能を身につけている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	住生活と文化	○住生活と文化 ○日本の住生活と文化 ○世界の住生活と文化	a: 住生活と文化について科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識、選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 b: 日本と世界の住生活や住文化の多様性と課題を見いだし、解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 住生活と文化について自ら学び, 住空間のデザインに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価 等
	住空間の構成と計画	○住生活と住空間 ○住空間の構造と材料 ○住空間の環境と設備 ○住空間の平面計画実習	a: 住生活と住空間の関わりや, 住空間の構造と材料, 環境と設備について理解し, 住空間の平面計画と平面図作成に関する技術を身に付ける b:住空間の平面計画と平面図作成ができる、快適な住空間, 安全な住空間をつくるために課題を発見し, その解決に向けて考察する。 c: 住空間のデザインに関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート発表 自己評価 等
後期	インテリアデザイン	○インテリアデザインの構成要素 ○インテリアデザインの表現技法 ○インテリアデザイン実習	a インテリアデザインの構成要素ついて理解し、健康で快適な住生活を主体的に営むために必要な知識、技術を身に付けている。 b:健康で快適な住生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:インテリアデザインに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価 等
	福祉住環境と室内計画	○住生活と福祉 ○住空間のバリアフリー化 ○住空間のリフォーム計画実習	a: 住生活と福祉, 住空間のバリアフリー化について理解する b: 住空間のバリアフリー化の可能性について身近な事例を通して課題を発見し, その解決に向けて考察し, 表現する c: 福祉住環境と室内計画について自ら学び, 住空間のバリアフリー化のデザインに主体的かつ協働的に取り組む	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度